



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社ソリトンシステムズ 上場取引所 東  
コード番号 3040 URL <https://www.soliton.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 理  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 三須 貴夫 TEL 03-5360-3801  
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,575	△2.0	489	△24.9	570	△18.6	391	△22.0
2023年12月期第1四半期	4,670	△3.4	650	6.9	700	2.9	502	0.1

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 342百万円 (△28.2%) 2023年12月期第1四半期 477百万円 (6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	21.14	—
2023年12月期第1四半期	27.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	21,648	11,214	51.7
2023年12月期	22,624	11,131	49.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 11,200百万円 2023年12月期 11,116百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.9	2,870	10.0	2,810	0.0	1,940	0.2	104.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	19,738,888株	2023年12月期	19,738,888株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年12月期1Q	1,208,987株	2023年12月期	1,218,877株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	18,529,901株	2023年12月期1Q	18,520,001株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

最近の世界情勢は、未だ共通の言葉を持たない原始時代と同じようです。

当第1四半期連結累計期間のわが国は、円安による物価高が懸念されますが、インバウンド需要や好調な企業業績を背景に設備投資が堅調に推移しています。

IT投資については、生産性の向上や競争力の強化等を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）への対応が企業、官公庁/自治体問わず拡大しています。DX推進に伴い、データの保護やシステムの防御、すなわちITセキュリティ対策の重要度は増す一方です。当社が提供するITセキュリティの「認証」、ネットワークの分離等はそのベーシックな対策として需要は底固く推移しています。また、国家のサイバーセキュリティの体制強化の議論の進展にあわせ、当社は、世界のトップクラスの実戦経験者を社外取締役招聘し、100%子会社株式会社サイバー防衛研究所を設立しました。

このような環境下、当社グループの業績について、自社製品/サービスの販売に注力し売上高総利益率44.8%と改善（前年同期：43.8%）しているものの、前年同期にあったEco新規事業の官公庁からの特注案件が剥落したため、売上高は4,575百万円（前年同期比2.0%減）となりました。また、社員が快適に業務に取り組み生産性をあげるためオフィス環境の整備に当第1四半期は1.6億円の設備投資（内訳：販売管理費の増加0.5億円、固定資産の取得1.1億円）を行い、営業利益は489百万円（前年同期比24.9%減）、為替差益83百万円の発生等により経常利益は570百万円（前年同期比18.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は391百万円（前年同期比22.0%減）となっています。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

#### ① ITセキュリティ事業

売上高は4,246百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益は765百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

前年同期の自社製品による官公庁向け大型案件がなく、粗利の少ない案件の比重が高くなり、セグメント利益は減益となりました。なお、当社はパナソニックコネク株式会社と連携し、厳格で安全なユーザー認証を実現するため、当社の多要素認証のクラウドサービス「Soliton OneGate」に同社の顔認証機能を追加します。当該サービスは2024年5月より販売開始予定です。同社との共創は、2022年12月売を開始した同社の顔認証機能を搭載したPCログオンソフト「SmartOn」に次ぐ、『第二弾』となります。

#### ② 映像コミュニケーション事業

売上高は304百万円（前年同期比45.7%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期はセグメント損失22百万円）となりました。

「Smart-telecaster シリーズ」について、国内外のパブリックセーフティ分野へ販売し、売上高は増収、セグメント利益を計上しました。国内では当該分野より今後も継続的な受注が期待されます。海外では大型案件を受注しています。クラウド経由で超短遅延/高精細画像をモニターしながら離れた場所にある車両や建機、ロボット等を遠隔監視/操縦する「Zao SDK」について、国内外でマーケティング活動を推進しています。顧客の要望を受け、様々なアプリケーションへの検証を進めています。

#### ③ Eco 新規事業開発

売上高は24百万円（前年同期比87.3%減）、セグメント損失は84百万円（前年同期はセグメント損失13百万円）となりました。

主に既存の人感センサーのみの販売だったため、売上高は減収、アナログエッジAIの開発費等で前年同期と比較しセグメント損失は拡大しました。なお、2024年1月に月面ヘビィンポイント着陸に成功した小型月着陸実証機SLIM (Smart Lander for Investigating Moon)の開発で、当社はJAXA（宇宙航空研究開発機構）に宇宙用FPGAへの書き込み、回路実装に協力しましたが、JAXAと新たに共同研究を開始しています。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて975百万円減少し、21,648百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて900百万円減少し、19,051百万円となりました。これは主に現金及び預金365百万円、流動資産その他239百万円、電子記録債権が156百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて75百万円減少し、2,597百万円となりました。これは主に有形固定資産が113百万円増加する一方、繰延税金資産が176百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,061百万円減少し、10,341百万円となりました。これは主に未払金が189百万円増加する一方、未払法人税等が906百万円、賞与引当金が422百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1百万円増加し、92百万円となりました。これは主に固定負債その他が5百万円増加する一方、リース債務が3百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部については、前連結会計年度末に比べて83百万円増加し、11,214百万円となりました。これは主に利益剰余金が132百万円増加した一方、為替換算調整勘定が47百万円減少したこと等によるものであります。なお自己資本比率は51.7%（前連結会計年度末比2.6ポイント増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2024年2月14日に公表いたしました数値より変更ございません。連結業績予想の修正が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,394	13,028
受取手形	2	0
電子記録債権	1,076	919
売掛金	2,655	2,599
契約資産	19	24
リース投資資産	65	59
商品及び製品	751	718
仕掛品	54	26
原材料及び貯蔵品	59	57
前払費用	1,524	1,502
その他	373	133
貸倒引当金	△23	△19
流動資産合計	19,952	19,051
固定資産		
有形固定資産	684	797
無形固定資産		
ソフトウェア	337	371
ソフトウェア仮勘定	230	176
その他	14	14
無形固定資産合計	583	562
投資その他の資産		
投資有価証券	97	89
差入保証金	472	471
繰延税金資産	350	173
その他	483	502
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,404	1,236
固定資産合計	2,672	2,597
資産合計	22,624	21,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883	816
短期借入金	69	68
リース債務	21	19
未払金	525	714
未払法人税等	930	24
契約負債	7,881	7,944
賞与引当金	656	234
役員賞与引当金	24	-
その他	408	519
流動負債合計	11,402	10,341
固定負債		
リース債務	43	40
その他	47	52
固定負債合計	90	92
負債合計	11,493	10,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326	1,326
資本剰余金	1,404	1,404
利益剰余金	9,844	9,976
自己株式	△1,322	△1,322
株主資本合計	11,253	11,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	12
為替換算調整勘定	△150	△198
その他の包括利益累計額合計	△136	△185
非支配株主持分	15	14
純資産合計	11,131	11,214
負債純資産合計	22,624	21,648

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,670	4,575
売上原価	2,624	2,525
売上総利益	2,046	2,050
販売費及び一般管理費	1,395	1,561
営業利益	650	489
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
為替差益	28	83
助成金収入	19	-
貸倒引当金戻入額	0	0
投資事業組合運用益	1	-
その他	2	1
営業外収益合計	52	86
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産除却損	1	1
投資事業組合運用損	-	3
営業外費用合計	2	4
経常利益	700	570
特別利益		
固定資産売却益	-	0
債務免除益	24	-
特別利益合計	24	0
特別損失		
投資有価証券評価損	2	8
特別損失合計	2	8
税金等調整前四半期純利益	723	562
法人税、住民税及び事業税	125	3
法人税等調整額	96	177
過年度法人税等	-	△8
法人税等合計	222	172
四半期純利益	501	390
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	502	391



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	501	390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△1
為替換算調整勘定	△25	△46
その他の包括利益合計	△24	△47
四半期包括利益	477	342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	478	343
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日 至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	ITセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
商品・製品	1,556	50	179	1,786
保守	1,311	11	-	1,323
クラウドサービス	582	7	0	590
役務その他収益	821	140	9	970
顧客との契約から生じる収益	4,272	209	188	4,670
外部顧客への売上高	4,272	209	188	4,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	0	5	7
計	4,274	209	194	4,678
セグメント利益又は損失(△)	895	△22	△13	859

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	859
全社費用(注)	△208
四半期連結損益計算書の営業利益	650

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日 至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計
	ITセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
商品・製品	1,593	110	24	1,727
保守	1,348	12	-	1,360
クラウドサービス	538	15	-	553
役務その他収益	766	166	-	933
顧客との契約から生じる収益	4,246	304	24	4,575
外部顧客への売上高	4,246	304	24	4,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	7	5	15
計	4,248	312	29	4,590
セグメント利益又は損失(△)	765	71	△84	752

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	752
全社費用(注)	△263
四半期連結損益計算書の営業利益	489

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。